

週報 第3353回

会 長 川端 徹 副会長 中 透・南出 和成
幹 事 山本 博章 SAA 道正田 均

例会場 ホテルレイクアルスターアルザ泉大津
T E L 0725-20-1121
例会日時 毎週金曜日12:30~13:30



事務局 〒595-0062 泉大津市田中町10-7 泉大津商工会議所3F
TEL.0725-21-9500 FAX.0725-21-9501
メールアドレス info@izumiotu-rc.org
ホームページ http://izumiotu-rc.org



今週の例会 (2026年10月2日) 第3353回

■ プログラム

クラブフォーラム
川崎 久典 社会奉仕部門担当理事

■ 次週のプログラム

10月9日: 定款の規定により休会

■ 今後の予定

10月16日: 卓話担当 岡本 笑明 会員

■ 祝 誕生日

西端 政博(3日)
森口 和信(13日)

■ 今月のロータリーソング

手に手つないで

今月の歌

ふるさと

うさぎ追いし かの山
小ぶな釣りし かの川
夢は今も めぐりて
忘れがたき ふるさと

■ 先週の例会

会長の時間



川端 徹 会長

アルツハイマー病の早期発見と治療

9月21日は「世界アルツハイマーデー」であり、日本では「認知症の日」とされています。大阪でのライトアップ予定はないと前週にご案内していましたが、大阪城でも独自のライトアップが実施されていたので、訂正させていただきます。LINEでライブ映像を共有させていただきました。認知症啓発へのご活用をいただければ幸いです。

アルツハイマー病では、アミロイドβタンパク(Aβ蛋白)が認知症発症の約20年前から脳内に蓄積し始め、無症状の期間を経て認知機能が低下し、MCI(軽度認知障害)に至ります。「MCIは、まだ認知症になって

いないので良かった」と安心してしまうのは適切ではなく、この段階から早期発見・早期対策、そして必要に応じて治療を進めることが重要です。

また、糖尿病、高血圧、脂質異常症などの生活習慣病は、アルツハイマー型認知症(AD)の発症に関係する重要な因子です。特に糖尿病では、認知症の発症リスクが約2倍になることが報告されており、ADは生活習慣病との関連が非常に深い疾患ともいえます。

現在では、脳内に蓄積したA β 蛋白を脳から除去する抗体治療が可能となっています。脳にA β 蛋白が蓄積しているかどうかは、アミロイドPET検査などで確認することができます。

PET検査は通常、高額な検査ですが、抗A β 抗体治療の適応を判断する目的など、一定の条件を満たした場合には健康保険が適用されます。PET検査の自己負担額の一例として、1割負担で約14,000円、3割負担で約42,000円程度となります。

また、PET検査のほかに、脳脊髄液検査でもA β 蓄積の評価が可能です。PETより安価ですが、腰椎穿刺を必要とするため侵襲を伴います。この地域では、岸和田徳洲会病院がPET検査および抗A β 抗体治療を実施しています。

現在、A β 蛋白を脳から除去する抗A β 抗体薬として、「レケンビ」(エーザイ)と「ケサンラ」(日本イーライリリー)の2種類があります。レケンビは原則2週間に1回、ケサンラは4週間に1回の点滴投与を行います。治療を継続することで、脳内のアミロイド蓄積が大きく減少することが確認されています。

治療中は、ARIAと呼ばれる脳浮腫や微小出血などの副作用の有無をMRI等で確認する必要があります。薬剤費や点滴、検査などを含めると年間費用は約300万～400万円で高額な医療となりますが、健康保険が適用され、高額療養費制度によって実際の自己負担額は一定程度抑えられます。

また、エーザイのレカネマブについては、今年9月、点滴による治療に加えて皮下注射製剤が承認されたと報じられました。週1回の投与で、オートインジェクターを用いた自己注射(1本15秒、1回2本注射)が可能となることで、将来的には通院負担の軽減が期待されます。従来点滴では投与に約1時間を要し、その後の観察時間も必要となるため、皮下注射が実際の診療に導入されれば、患者さんやご家族の負担軽減につながることを期待されます。

抗A β 抗体治療は、認知機能を元に戻す治療ではありません。しかし、病気の進行を遅らせ、認知機能や日

常生活機能が保たれる期間を延ばすことが期待されています。そのため、治療後も生活習慣を整え、運動、食事、社会参加など、認知症予防に良いとされる取り組みを積極的に続けていくことが大切です。

高額な治療ではありますが、認知機能低下の進行を遅らせることによって、患者さん本人やご家族の生活への影響だけでなく、将来的な医療・介護負担を軽減できる可能性についても検討されています。認知症の発症率を抑えることで国の財政面でも費用対効果が期待されると言われています。

レケンビは、軽度認知障害(MCI)および軽度のアルツハイマー型認知症が治療対象であり、MMSE30点満点中、おおむね22～30点が臨床試験で対象とされた範囲です。物忘れや認知機能低下が気になる場合、また血縁者に認知症の方がおられ心配な場合には、物忘れ健診や医療機関での認知機能検査を早めに受けていただきたいと思います。

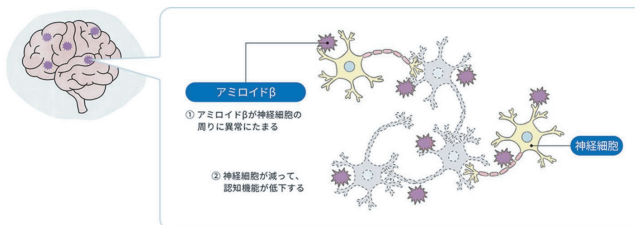
泉大津市の物忘れ健診は、65歳以上の方を対象に、認知症サポート医のいる市内5か所の医療機関で無料で受けることができます。

抗A β 抗体治療についてはテレビコマーシャルなどでも紹介されるようになりましたが、まだ一般市民への周知は十分とはいえず、私たち医療者からの啓発もさらに必要だと感じています。

認知症は、「症状が進んでから受診する病気」から、「早く気づき、早く調べ、早い段階から対策や治療を考える病気」へと変わりつつあります。この新しい治療を必要とする方に適切に届けるためにも、これからも早期発見・早期治療の大切さを啓発していく必要があると思います。

MCI(軽度認知障害)の症状

以前に比べて認知機能の低下を感じているもの、日常生活に支障が生じるほどの大幅な低下ではない状態です。



幹事報告

山本 博章 幹事

- 本日皆様のメールボックスに、来年1月からの後期の年間プログラムを入れさせていただいております。尚、泉大津市長ならびに大橋府議会議員様の特別卓話の日程については、予定とさせていただいております。
- 令和8年熊本地震被害支援金といたしまして、当クラブより5万円を2640地区の方に送金をさせていただきます。
- 来年スペインで行われるバルセロナ国際大会に、川端会長ご夫妻が登録されました。3月31日までは事前登録割引がございますので、ご参加される方はぜひご利用いただきたいと思います。
- クールビズの期間についてですが、原則9月末となっておりますが、まだまだ昨今温暖化により暑い日が続いておりますので、10月末までの期間をクールビズ対応とさせていただきます。

委員会報告

本日例会終了後、みやびの間にて社会奉仕委員会を開催させていただきます。委員の方はよろしくお願い致します。(川崎 久典 社会奉仕委員長)

■ ビジター

なし

■ 出席報告 会員数39名 出席免除0名

月日	出席数	欠席	補充	出席率
9/25	36名	3名	—	92.31%
9/10	27名	12名	7名	87.18%

■ メークアップ

榎本(9/17 ワールド大阪ロータリーEクラブ)
前山、根尾、瀧谷、八木(昌)
(9/1 国際奉仕部門合同委員会)
松内、南出(9/4 理事役員会)

■ ニコニコ箱

- ・是枝町長様、卓話講演にお越しいただきありがとうございます。宜しくお願いいたします(川端)
- ・忠岡町長 是枝様、本日のご講演よろしく願います(山本)
- ・是枝様、本日はどうぞよろしくお願い致します(道正田)
- ・是枝町長、本日はよろしくお願い致します(櫻井)
- ・本日は忠岡町長 是枝綾子様、お越し頂き有難うございます。本日の卓話を宜しくお願いします(根尾)
- ・欠席のお詫び。東京に行っていました(杉本)
- ・欠席のお詫び(藤野)
- ・前回の例会欠席のお詫び(細川)

ニコニコ箱合計	15,000円
累計	196,000円

■ 祝 誕生日



西田 佳郎 会員(26日)
小野寺 巧 会員(29日)

先週のプログラム



卓話講師 忠岡町長 是枝 綾子 様
「日本一小さな町 忠岡町の今後の発展のために」

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基盤として奉仕の理想を奨励し、これを育むことにある。

具体的には、次の各項を奨励することにある。

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

= 言動はこれに照らしてから =

- 1. 真実かどうか
- 2. みんなに公平か
- 3. 好意と友情を深めるか
- 4. みんなのためになるかどうか